

# 三鴨小だより

学校教育目標

やさしい子 かしい子 たくましい子

# 第15号

発行日 平成30年10月18日

発行者 三鴨小学校長 廣田 昌英

## まるで母親

1年生による音読発表がありました。ステージ上に横2列に並び、身振り手振りを交えて物語を立派に音読してくれました。きっとたくさん練習したんでしょうね。上級生が発表した感想のことばを引用すると、「初めての音読発表とは思えない」「体の動きも使った分かりやすい」「はっきりとした大きい声での」発表でした。1年生、ありがとう！

ところで、体育館後方には、その発表を誰よりも食い入るように見つめていた2人の先生がいました。1年生より緊張した表情で発表を撮影していた担任の矢部先生と、両手を胸の前で合わせ、祈るように見つめていた田中先生です。発表終了後のホッとした表情も、とても脱力感に満ちあふれていて印象的でした。でも、後で聞いたら、練習ではもっと声が出ていたそうです。.....緊張でいつもの声が出せない1年生を、遠くから見守ることしかできなかった矢部先生と田中先生、さぞかしハラハラドキドキだったことでしょう。でも、きっと上級生の担任も、自分のクラスの発表のときは同じ心境だったことでしょう。大切な存在だからこそ、心配が絶えないんですよね？

## 誰が食べてるの？

見事な音読発表を終えた1年生、図工の時間には動物を作っていました。材料は家から持参した空き箱、綿、トイレットペーパーの芯など様々です。胴体に箱を用いるのは王道ですよ。ところがある子は、2つの箱を上あごと下あごに見立てて大きな口を作っていました。ワニだそうです。またある子はカラフルなモールをらせん状により合わせ、きれいなしっぽを作っていました。その発想力、すごい！すごい！みんな国語や算数の授業では（決して？）見せない生き生きとした表情で取り組んでいました。ところで、1年生はポテトチップスが大好きなのではないでしょうか？チップ○ターの円柱形の空き箱がやけに多かったんですけど.....

## エスパー？

4年生の理科の授業では空気の勉強をしていました。各自が半透明の大きなビ

ニール袋に空気を閉じ込め、見えない空気の「見える化」を図ろうとしていました。きつとこの後、圧縮したりして弾性を体感するんでしょうね？ところが4年生、ビニール袋を大きく上下させながらもなかなか多量の空気を閉じ込められません。「まったく手際が悪いんだから...」とか思って見ていると、1人の男の子が近づいてきて言いました。「校長先生もやりますか？やりたいんでしょ？」フン！「もっと上手にできるのになあ、いいところ見せられるのになあ...」なんて全然思ってたよ！

## 訓練はしたけれど....

金坂先生の計画で避難訓練が行われた後、消防署の隊員の方々にお世話になって1～3年生は煙道体験、4～6年生は消火器訓練を行いました。貴重な経験でした。ところで、消火器訓練をご指導くださった隊員の方が、最後に子どもたちに言いました。「みなさん、実際に火事が起きたら、消火器で火を消そうなどとは思わず、すぐ逃げてください。」...子どもたちの安全を第一に考えてくれたお話でした。

## かぶりしました

その日の5年生は2校時目の避難訓練が終了したら、すぐに家庭科室に集合でした。楽しみにしていた調理実習なのです。メニューはご飯とみそ汁。ちょっとだけのぞいてみました。出汁は本格的(?)に煮干しから取っていました。恥ずかしながら実は私も未経験。煮干しは頭とはらわたを取り除くものなんですね。米は耐熱ガラス鍋で炊きあげます。水が沸騰し、米がご飯になっていく状況がよ～く観察できるのです。私にとってはこれも初めての経験でした。

5年生のおかげで貴重な経験を済ませた私は満足して校長室に戻りました。そして、ふと思いついて今日の給食のメニューを献立表で確認しました。ピンポン！ご飯とみそ汁でした.....今日の5年生の教室は「ご飯は握って小さくすればいくらかでも食べられるの法則」が横行するかもしれません。そのときは食塩を使用すれば無敵かもしれませんね。